

作品講評

【ポスターの部】

大阪府知事賞(野崎日向さんの作品)

なんといっても食中毒防止の三原則を忍術書に見立てたアイデアが光る作品です。さらに、それぞれのポーズを取っているコミカルな忍者の描写、秘伝にふさわしい筆書き風の文字デザイン、忍術書の紫色とそれを引き立てる黄色のバックなどの配色もすばらしく、すきのない作品に仕上がっています。

大阪市長賞(永井琴乃さんの作品)

冷蔵庫などの3つのキャラクターと文字の配置が全体的に整然としており、それが保存と加熱という対策の「正しさ」を見る人に強く印象づける作品です。からし色のバックに浮かぶ、青で縁取りされたオレンジに白く抜かれた「保存・加熱・手洗い」という文字の配色も効果的です。

堺市長賞(中山明咲さんの作品)

水に洗われる野菜たちの描写は簡潔でありながら、きゅうりの凸凹のある輪郭など、それぞれの特徴を的確に捉えており、作者の描写力の高さが伺えます。横一列ではなく、少しずつ高さや大きさ、色を変えた文字の配置も巧みで、完成度の高い作品となっています。

協会長賞①(井ノ口裕二さんの作品)

切り紙による作品です。切り紙は、切り取られた輪郭と色むらのない面による、すっきりとした強い構成となる反面、無機的で単調となりがちです。しかし、リングの光っている部分など立体感も巧みに表現され、食材などに入れた目も生き生きとしています。

協会長賞②(巽咲絢さんの作品)

縦4つに画面を分割した構成が効果を上げています。上から2つめの朱色の面に白く浮かび上がる「食中毒を予防しよう」がこの作品のテーマとなり、同じ朱色で塗られた1から3の標語が、食中毒予防の3つのポイントを表すという配色もよく考えられています。

協会長賞③(浅河実波さんの作品)

画面中央に描かれ、清潔にピカピカと光る「あなたの『その手』」の描写がリアルで、見る人に迫ってきます。背景に塗られた青色が、開かれた両手の肌の色と黄色の光を引き立てています。白でふち取りされた赤色の文字もメッセージの強さをうまく表現しています。

作品講評

【標語の部】

大阪府知事賞(平岡達司さんの作品)

「二刀流！ 調理するはし 食べるはし」

流行の言葉を取り入れて、お箸の使い分けの重要性を分かりやすく表現しています。

大阪市長賞(和佐野仁史さんの作品)

「まあいいか 油断の先に 食中毒」

とてもわかりやすく、少しの油断が食中毒につながると気づかされる作品です。

堺市長賞(勝連菜美さんの作品)

「しんせんは あんぜんちゃうで とりさしみ」

誤解の多いカンピロバクターのリスクへの注意喚起を的確に表現しており、かつ全てひらがなを用いることによって訴求力があります。

協会長賞(肘井良馬さんの作品)

「手洗いは 急ぎの時でも しっかりと」

急いでいるときはつい簡略化してしまいがちな手洗いについて、しっかりと行うことの重要性を再認識させてくれます。